

【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

令和3年3月22日

～地方創生と連動したDMO等養成塾～

第6回養成塾（最終回）の開催について

成田空港活用協議会では、成田空港を活用した千葉県経済の活性化を目指し、空港関連ビジネスの創出をはじめ、市町村の地方創生関連事業と連携・連動した事業などに取り組んでいます。

本年度は、一昨年の台風被害からの復興やコロナ収束後を見据えた持続可能な観光地経営や地域内の経済循環を確立するためのノウハウを修得する機会として、標記養成塾を実施してきました。（※事業の概要は、別添「開催要領」をご覧ください。）

最終回となる今回は、過去5回を振り返る総括講義と修了式を行います。

なお、開催に当たりましては、皆様の安全・安心を第一に考え、国・自治体が定めるガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底いたします。

記

- 1 主催
成田空港活用協議会
- 2 開催日時・進行
令和3年3月26日（金）13時30分～16時00分（予定）
13時30分 開会
13時35分 観光庁観光地域振興部長 村田茂樹氏講演
※コロナ後の持続可能な観光地経営のあり方に関するお話
14時05分 山田桂一郎氏講演（途中休憩あり）
※過去5回のテーマの振り返りと総括講義
15時50分 修了式（総括講師から参加者代表に授与）
16時00分 閉会
- 3 場所
かずさアカデミアホール201会議室（千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9）
- 4 講師
・総括講師 山田桂一郎氏
（JTIC.SWISS 代表・観光カリスマ・内閣官房地域活性化伝道師ほか）
・ゲスト 村田茂樹氏（観光庁観光地域振興部長）
- 5 参加者
・市町村の観光関係者（行政・観光協会など）
・当協議会会員（空港・航空・交通などの事業者）
- 6 取材について
取材にお越しいただける場合は、2枚目をご覧ください。

【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

【取材について】

1 受付について

取材を希望される場合は、**13時00分から13時15分までの間**に、会場前で受付をしていただくとともに、会場では、必ず腕章の着用をお願いします。

2 取材時のお願い

取材に際しては、講義の進行を妨げることをないよう留意願います。

3 会場について

かずさアカデミアホール(千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9)

・2F 201会議室

【電車でお越しの場合】

JR 木更津駅から路線バスをご利用いただけます。(所要時間:約25分)

- ・木更津駅東口→かずさアーク(かずさアカデミアパーク線)
- ・木更津駅東口→かずさアーク(高倉線)
- ・木更津駅西口→かずさアーク(鴨川線)

【お車でお越しの場合】

ホールの無料駐車場をご利用ください。



会場アクセスは下図をご覧ください。



《お問い合わせ先》成田空港活用協議会事務局 澁谷、木村、齊藤

千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階301

TEL : 043-306-2411 FAX : 043-306-2412 E-mail : info@nrt-promo.jp URL : http://www.nrt-promo.jp/

地方創生と連動したDMO等養成塾

～持続可能な地域経営に向けて何をすべきか～

開催要領

昨秋の台風及び豪雨被害に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う観光業をはじめとする地域産業に相当なダメージを受けている県内市町村の状況に鑑み、コロナ後の持続可能な地域経営のノウハウを取得することを目的とする講座をシリーズで開催する。

既に、本年3月に開催した第1回講座においては、本事業を統括する山田桂一郎氏の講演により、持続可能な地域経営の必要性やその意義を学んだ。

令和2年度においては、第1回講座により必要性を認識した会員及びその連携事業者などを受講者（塾生）とし、実際の課題を設定して、掘り下げた講義により知識を深めるとともに、ワークショップにより塾生自らが課題の解決策を見出していく。

本講座修了後、各市町村において地方創生総合戦略等に位置付けの上、受講生を中心に関係者が共通認識の下で、自発的にDMOの設置をはじめ持続可能な地域経営体制の整備を進めるものとする。

1 事業の概要

持続可能な地域経営組織体制の確立を目的として、各回ともに個別テーマを設け、基調講演及びワークショップにより課題解決手法を習得する講座を5回程度開催する。

講師は山田桂一郎氏を統括講師とし、必要に応じテーマに沿う特別講師を招請する。

なお、先進事例視察として、山田桂一郎氏がアドバイザーとしてDMOの組織運営に深く関わっている宮城県気仙沼市を視察する。

本講座の結果は、地域における活動の一助となる資料とすべく、報告書としてまとめ、受講者・会員間での共有を図る。

【受講者（塾生）】

各市町村の行政、経済、観光、交通関係者など（多分野からの参加を要請）

【テーマ】（順不同）

世界水準のDMOのあり方に関する検討会「中間とりまとめ」記載の課題及び改善の方向性並びに第1回講座における山田氏の講演を踏まえ、以下のテーマを設定する予定。

- (1) 多様な主体の参加、自主財源の確保と域内の経済循環の確立
- (2) 観光資源の磨き上げと受入態勢 ～現状と課題・その解消～
- (3) 旅行者目線に立った二次交通等交通アクセスの整備
- (4) 専門的スキルを持つ人材の確保・全体まとめ、修了証交付
- (5) 先進事例調査（気仙沼市）

2 講座の進め方

- (1) 各講座の内容（テーマ）については、山田氏と調整の上確定する。
- (2) 講座は、基調講演、ワークショップ、結果発表及び講評の順で行う。
- (3) 講座の会場は、かずさアカデミアホールとする。

3 スケジュール

令和2年	9月	第2回講座	(9月10日開催済)
	10月	先進事例調査	(10月25～27日開催済)
	11月	第3回講座	(12月11日開催済)
令和3年	1月	第4回講座	(1月20日開催済)
	2月	第5回講座	(2月9日開催済)
	3月	第6回講座	※3月26日開催予定

4 先進事例視察について

- (1) テーマ：①気仙沼市におけるDMO組織の概要（沿革・活動内容）
②顧客マーケティング手法の構築
③これまでの取組成果と課題
④市内視察及び交流会
- (2) 日程：2泊3日
- (3) 参加費：気仙沼までの往復交通費、宿泊・飲食費は参加者負担とする。
現地での共通経費（会議・移動に伴う経費、講師謝金）は事務局で負担する。

5 修了証の交付

全講座中8割以上の講座を受講した塾生に対し、総括講師から修了証を交付する。
修了証の交付を受けた塾生には、それぞれの地域において関係者と認識の共有に努め、DMOの設置をはじめとする持続可能な地域経営体制の整備に寄与していただくことを期待する。